

津軽白神

ふれあい通信

林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター

平成 28 年 1 月 5 日

No.115



新年明けましておめでとうございます



津軽白神森林生態系保全センター 所長 石田 和彦

新年を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。皆様には、日頃より津軽白神森林生態系保全センターの諸活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、全国各地の豊かな森林やその生物多様性が、松くい虫、ナラ枯れ、ニホンジカなどの森林病虫獣害により損なわれる事例が広がっています。

白神山地周辺も例外ではなく、昨年は、青森県深浦町で平成 25 年以來となる松くい虫被害の確認や、当センターが設置した監視カメラにニホンジカが複数撮影されるなどその被害は予断を許さない状況となってきました。

今後、これらの森林病虫獣害対策を進めるにあたっては、地域住民の方々の関心の高まりや対策の必要性などへの正しい理解が重要であり、必要不可欠であると考えています。

本年は、センサーカメラによる監視、遺産地域や周辺地域の巡視を強化するとともに、本誌でもニホンジカ対策などへの理解がより深まり広がるよう他県の被害状況や対策なども分かりやすくお伝えしていきたいと考えています。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、新たな年のスタートにあたってのご挨拶とさせていただきます。本年も当センターをよろしくお願い致します。

津軽白神森林生態系保全センター 職員一同

新年あけましておめでとうございます。

白神山地をはじめとする津軽地方の貴重な森林の保全、そして関係が希薄になっているといわれる森林と人の間に入り、関係をつなぎとめ近づける役割を今後も果たせるよう、職員一人一人精一杯業務に取り組んで参ります。

今年も皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ニホンジカ巡礼山行 —前編—

専門官 有本 実

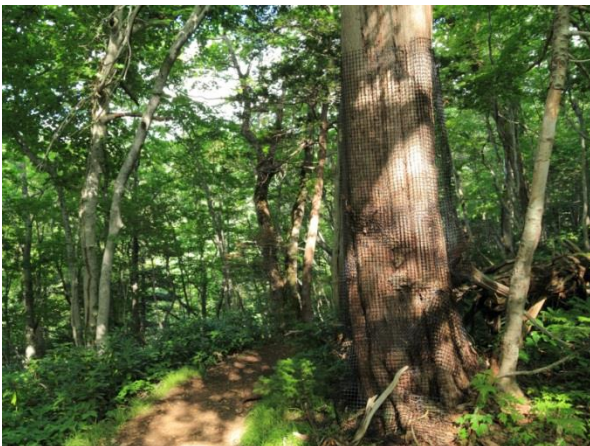
今年度、頻繁に新聞やテレビで取り上げられた白神山地周辺のニホンジカ（以下シカ）。このまま個体数が増え続けたら、あの世界遺産地域のブナ林はどうなってしまうのでしょうか？ 登山好きの私はこれまで各地色々な山域を旅してきましたが、特にシカが話題に上る地域について、私が行った当時の状況を2回に分けてご紹介していきます。岳人目線の私的な感想を含む点、ご了承下さい。



＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

それでは北から順に見ていきましょう。まずは白神と同じく世界自然遺産地域の知床半島です。道の駅ではシカ肉や角の加工品が多品目販売され、捕獲したシカがしっかり活用されていました。

早速シカを見つけたのは、シャトルバスでカムイワッカ川（温泉の川！）に向かう途中。運転手さんがスピードを緩めて、車道脇で数頭が草を食べているのを教えてくださいました①。さすがエゾシカ、本州産より一回り大きくて迫力があります。それにしても昼間からこんな簡単に見られるとは、相当な数が生息していそうです。



翌日、知床半島の最高峰・羅臼岳に登る途中、登山道沿いの立木に黒い網状の物が巻かれました②。これはシカに樹皮を食べられるのを防ぐための措置ですが、一見すると林内は下層植生が丸裸！などという状態ではありません。被害が激しい所は、草本類の種構成自体が変化してしまっているのかもしれませんが、私にはシカよりむしろヒグマの方が気がかりでした③。遭遇せずにすみましたが・・



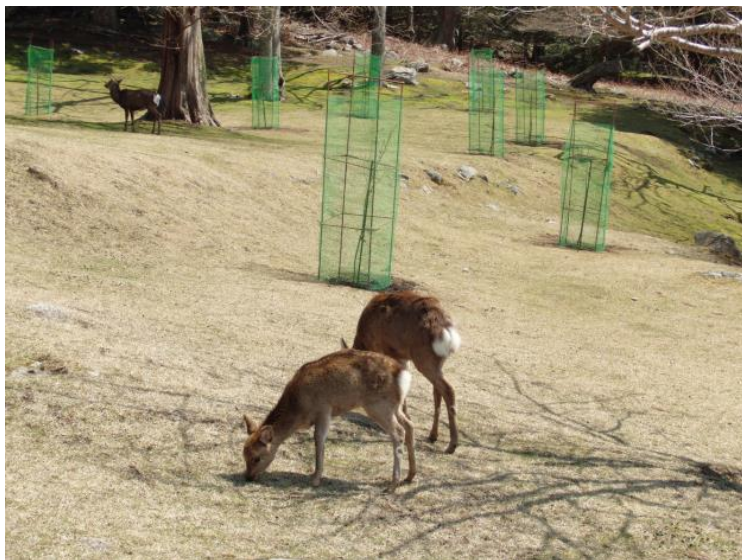
知床森林生態系保全センターでは、エゾシカの捕獲事業を実施しています。

ブログや広報誌「知床の森から」で紹介されていますので、是非一度HPをチェックしてみてください。

上：①車道脇のエゾシカ 2013. 8. 21

中：②羅臼岳登山道 2013. 8. 22

下：③ヒグマ注意！ 2013. 8. 19



④ 食べ過ぎ! 2010. 4. 24

次は東北、宮城県は牡鹿半島の東海上に浮かぶ金華山です。当時私は宮城北部森林管理署に勤務しており、管内でもあるここは仕事で訪れました。金華山は奈良公園や宮島と同様、シカを神様の遣いとして守ってきたため、島内いたる所シカだらけです。④の写真、ここは芝生の公園ではありません！シカが草を食べ尽くしてしまった成れの果てで、四角い網に保護された植木が何とも儂げです。

島の最高地点・大海祓（おおわだつみ）神社に向かう途中に、シカの食害を防ぐための防鹿柵が設置されています⑤。柵の外側、下層植生が丸裸！ここまできれいに？食べられてしまうと、雨水などで地表が削られ土壌が流出し、さらに山腹が崩壊してしまう恐れがあります。私が在勤していた頃は、治山課の精鋭部隊が中心になって防鹿柵の設置+植樹⑥、山腹工事等で日々奮闘していました。金華山の惨状は、シカによる食害の最終形を見ているように感じます。



⑤ 防鹿柵 2011. 9. 14

= = = = = = = =

今回最後にご紹介するのは、1990年代半ばよりシカが目撃され始めた尾瀬です。2008年に尾瀬沼北東の大江湿原でニッコウキスゲの食害が目立ち始め、私はその翌年に状況を確認してきました。

尾瀬沼北東の玄関口、沼山峠の休憩所には「ニホンジカ捕獲の実施について」という貼り紙がありました⑦。もうそんな深刻なのか？と焦りつつも、自分にとって初めて足を踏み入れる尾瀬です。1週間かけて尾瀬沼～燧ヶ岳～尾瀬ヶ原～至仏山～三条ノ滝…



⑥ 柵で囲って植樹 2010. 4. 24

とじっくり歩き堪能しましたが、シカの仕業か！と思えるような目立った被害は見られず、想像通りのいわゆる‘夏の尾瀬’でした⑧。一つ気になったのは、シカではなく登山者の踏圧によって登山道沿いの植生が荒廃してしまった至仏山です。写真⑧の雲がかかっている山ですが、植生保護のため一方通行になっていました⑨。

あれから 6 年以上の歳月が流れ、さて尾瀬は今どうなっているのかとインターネットで調べたところ、尾瀬の代名詞・ミズバショウの大群落が・・・！

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

・・・次回も引き続き 3 箇所ご紹介します、お楽しみに。



⑦ わな猟実施 2009. 8. 9

⑧ 尾瀬ヶ原・中田代 2009. 8. 11

⑨ 至仏山山頂の標識 2009. 8. 12

《平成28・29年度「国有林モニター」の募集》

東北森林管理局は、国有林の管理・経営に皆様の声を役立てていくため、モニターを募集しています。

募集人員：48名程度

※各地域内の人数及び年齢・男女比等の均衡を図るため、最終的人数と前後することがございます

募集期間：平成27年12月16日（水）～平成28年1月29日（金）

（当日消印有効）

任 期：2年間

（平成28年4月～平成30年3月）

内 容：アンケートへの回答、現地見学会・国有林モニター会議への出席など

応募資格、応募方法など、詳しくは東北森林管理局HP（下記参照）をご覧ください、もしくはお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉 林野庁 東北森林管理局 企画調整課 林政推進係

電話：018(836)2228 F A X：018(836)2031

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>

